



快適な窓口サービスの実現へ
市民目線で徹底検証しました



市役所のインターンシップに参加した学生が、引越しをした設定の市民役となり、手続きにかかる時間や必要な書類の量などを調査しました。参加者からは「待合場所が少ない」「書類が多く、デジタル化できないか」などの課題が挙げられた一方、「説明が丁寧でわかりやすかった」との声もあり、市民目線の気づきを得ることができました。

これらの意見を参考に、快適な窓口サービスの実現に向け、改善を進めます。

問 行政共創プロジェクトチーム
(☎内線 667)

医師を目指す学生を対象に
セミナーを開催しました



8月9日、市民病院で第6回「地域医療を支える人づくり事業」と、第3回「中津川市地域医療コースセミナー」を合同で開催しました。小児科コースでは、人工血管を使用した採血実習など、麻酔科+救急科コースでは、気管挿管実習やギプス脱着実習などを体験しました。

今後も学生を対象としたイベントを開催していきます。

問 医師確保対策室
(☎ 66-11251)

宝くじ助成金で、避難所用備品を整備

(二財) 自治総合センターのコミュニティ助成事業補助を受け、中津南地区川上(かおれ)21区自治会が、災害時に使用するテントや蓄電池などを整備しました。

今後、地域での防災活動や災害時の避難所運営に活用されます。

問 防災安全課 (☎内線 165)

夏休み最後の思い出に
楽しく工作！



8月24日、図書館で「おはなし会と夏のおたのしみ工作」を開催しました。海の生き物たちが登場するおはなし会の後、ふわふわ揺れるかわいいうクラゲを作りました。夏休み最後の日曜日をみんなで楽しく過ごしました。

問 市立図書館 (☎ 66-1308)



にぎわいプラザ跡地活用基本構想を策定しました

問 商業課 (☎内線 4267)

～施設の経緯～

- にぎわいプラザは昭和50年から53年に、駅前再開発事業で整備されました。
- 市の玄関口であるJR中津川駅に隣接し、住民生活の一部として、また来訪者を迎える市の重要な拠点として機能してきました。
- 令和2年3月、施設および設備の老朽化に伴い、一部機能をひと・まちテラスへ移転・集約し、令和8年度に用途廃止する方針を決定しました。

基本理念

中津川駅前ににぎわいを創出し、
市域全体への活気と経済効果の波及を目指す

基本方針・方向性

- 隣接する土地も含め、短期～中期、長期的視点で最適な活用を検討
- 現在のにぎわいプラザにある「観光案内機能」「特産品PR販売機能」「待合機能」の3つの機能を中心核として検討
- 用途廃止の際も可能な限り上記の3つの機能を休止せず、継続する

今後の予定

令和7年度…基本計画の策定、解体調査設計
令和8年度…実施計画の策定、解体詳細設計など

詳しくは市ホームページから▶

